

「検査による不良流出防止」から「工程内での不良発生未然防止」へ！

不良を発生させない工程整備&ポカヨケ・ヒューマンエラー防止策の基礎

日時 2025年11月11日(火) 10:00~17:00 (9:30 受付開始) ※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 松田 龍太郎 氏
株式会社SMC 代表取締役

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)
※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- [1]良品条件・良品維持の考え方と手法が理解でき、不良ゼロの工程整備を達成できます。
- [2]ヒューマンエラーを防ぐ製造現場特有のユニバーサルデザインが学べます。
- [3]物理的な原理に基づくポカヨケと効果的なポカヨケツールが学べます。
- [4]動作経済の原則を同時に学ぶことができ、生産性を伴う不良ゼロの現場を実現できます。

プログラム

1 製造品質は工程でつくり込め！

- 1) 製品品質が良ければ、コストが下がります
- 2) 良い製品品質は、検査ではなく工程でつくり込みます

2 製造品質問題に対する意識改革

- 1) お客様が満足する品質を実現するには？
- 2) 現場が一体となり、品質へのこだわりを追求する

3 品質のつくり込みは、良品条件の確保

- 1) なぜ、品質不良は減らないのか？
- 2) バラツキやカタヨリを減らすための着眼点
- 3) 良品条件の解明と維持管理の考え方とやり方

4 品質つくり込み能力を強化するには

- 1) 手法・ツールの準備、具体的事例紹介
- 2) 生産システムの構築
- 3) 現場の自律化
- 4) 現場に強い人づくりと事例紹介

5 ヒューマンエラーとは？

- 1) ヒューマンエラーの種類は3つ
- 2) ヒューマンエラーは、99%がたわいもないこと
- 3) ヒューマンエラーをなくすヒント
- 4) ユニバーサルデザインの大切さ

6 ヒューマンエラー防止策の取り組み

- 1) 安全で働きやすい職場づくり
- 2) 作業環境の整備
- 3) 安全確保が、品質・生産性を向上させる
- 4) 事前の防止策
- 5) ヒューマンエラーの防止策
- 6) まずは、整理・清掃・整頓から取り組む
- 7) 目で見える管理で、異常を少なくする
- 8) ポカヨケと標準作業の関係

7 すぐできるヒューマンエラー防止策

- 1) 5S+表示標識
- 2) 動作経済の4原則
- 3) セット化・キット化
- 4) チェックリスト
- 5) 具体的な事例集を、わかりやすい写真とコメントで紹介

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

